

ウチヤマタイムズ

(株)ウチヤマホールディングス 〒802-0044 福岡県北九州市小倉北区熊本2丁目10-10 電話:093-551-0002
発行日:令和3年9月17日 編集:嶋井太郎・岡田直紀・原田裕子 監修:内山文治・吉岡信之

10
No.236

2021

さわやか

こおりやま館

開所

九月一日、福島県郡山市にて、さわやか俱楽部が運営する介護付有料老人ホーム「さわやかこおりやま館」が開所しました。福島県では今年七月に開所した「さわやかふくしまの里」に次いで二か所目の施設となります。建物は二階建てで、居住フロアにおいては窓を大きく設計し、開放感のある施設です。閑静な住宅街に立地し、近隣には小学校や保育園、公民館があり、地域交流が盛んに行われています。また、県内有数の桜の名所であり、映画「時をかける少女(二〇一〇)」のロケ地にもなった開成山公園も近くにあります。八月に行われた内覧会では三日間で一五五名の方が来館され、十四名がその場ですぐ申込をされるなど、入居の方も順調に進められています。



多くの方々にご支援いただきながら無事に開設できただとに感謝いたします。ご入居いただくお客様への安心・安全なサービス提供はもちろん、地域に貢献し愛される施設となるよう精進してまいります。そして「こおりやま館」に入居してよかつた」と思っていただけるよう、職員一同尽力させていただきます。(小島 尚人)

施設長あいさつ



さわやかこおりやま館
〒963-8033 福島県郡山市龜田1丁目33番18号
TEL.024-911-9027

●交通アクセス

JR東北本線・郡山駅より車で約20分
東北道・郡山中央スマートICより車で約10分

優勝者の喜びの声

今回はコンテストの開催が真夏だったので、西日が厳しい施設の玄関のプランターの花を咲かせておくのが大変でした。毎日朝晩の水やりや枯れた花を取り除く作業を、事務所の職員が協力して行いました。花壇は、入居者様に草取りを頑張っていただきました。優勝できて、とてもうれしく思います。入居者様も喜んでくださいと一緒に頑張りたいと思います。(細川里美)

さわやか俱楽部で第六回目となる施設対抗のフラワーコンテストが行われました。コロナ禍で来館されるお客様も少なくなっていますが、各施設の玄関周りにはこの夏も色とりどりの花や植木が飾られ、入居者様や職員の目を楽しませてくれました。本社での厳正な審査の結果、今年は東北勢で初めて、秋田市のさわやか桜参番館が優勝しました。

第六回
フラワーコンテスト



第1位

さわやか桜参番館
(秋田県秋田市)



第2位

さわやかかぬま館
(栃木県鹿沼市)

第3位

さわやかさの館
(栃木県佐野市)

会長賞

さわやか室蘭式番館（北海道室蘭市）

2021年
9月度表彰

入居者様の娘様より

今月も（株）さわやか倶楽部が運営する介護施設に
ご家族様から感謝のおたよりをいただきました。

スタッフの皆様へ

父は7月5日、永眠いたしました。急性腎不全で緊急入院しましたが、治療の効果があり、しばらくは安定した状態でした。七くなる二日前から39℃の熱が下がらず、肺炎を併発し息を引き取りました。コロナ禍で私は病院の中に入ることもできず、きっと父は私が会いに来るのを待つていたと思うと胸が痛くなります。4ヶ月という短い期間でしたが、スタッフの皆様には大変お世話をなりました。ありがとうございました。気難しいところのある父でしたが、対応に苦慮されたこともあるかと思います。又、お忙しいなか、父に携帯の使い方を教えてくださったことが何度もありました。ひとり暮らしの長かったので、はたして老人ホームで生活できるかと心配しましたが、毎日のレクリエーションが楽しいと話していました。優しいスタッフの皆様に囲まれて、父は幸せだったと思います。さわやか館で父が楽しく穏やかに過ごせましたこと、皆様に感謝しております。皆様のご健康をよりお祈りいたします。



笑顔の鶴岡様

施設からのコメント

鶴岡様は数年前に奥様に先立たれ、さわやか室蘭式番館へ入居するまで、ご自宅にて一人で過ごされておりました。今年の一月に入居された際は、九〇歳とは思えないくらい心身共にしっかりと印象を受けました。当館における日々の活力朝礼や午後のレクリエーションへも積極的に参加され、当時の素敵なお顔を今でも忘れません。そんな鶴岡様に対し、周囲のお客様も一日置いているような存在でした。六月に体調を崩されて入院し、そのまま退去となってしまいましたが、今でもいつも優しい笑顔でひょっこり姿を見せてくれそうな不思議な感覚を覚えます。短い間ではありましたがあ生きることの大切さ」、「命の尊さ」を最期まで身をもって教えてくださいました。鶴岡様と出会えたこと、学ばせていただいたことを胸に、スタッフ一同先に繋げていく所存です。どうございました。（施設長・相馬利春＆職員一同）

※写真およびお手紙は、ご家族様の許可を得て掲載しています。

キラリ一等星

光り輝くスタッフのご紹介！



副主任兼生活相談員

福田 尚子さん

さわやかふか家の里
埼玉県深谷市



瞬間はとても嬉しかったです！

車好きということもあり、長年ガソリンスタンドで店長として勤めていました。そんな経験を生かし、ふか家の里の社用車点検も行い、安心・安全に利用者様に同乗していただけるように努めています。食歩きも大好きで、コロナ前はいろんな場所へ行きました。「美味しい牛タンが食べたい！」と思い立ち仙台まで日帰りで行ったこともありました。今は自粛中…。小さな庭ですが天気の良い日はそこで愛犬サクラと一緒にBBQ等しています。自宅は大自然の中にありますので(イノシシやタヌキが普通に出ます(笑))、山に入って山菜摘みをしたり、はたまた川へ散歩に出掛けたりと、のんびり過ごしています。

今はコロナ禍で、施設のイベントにご家族様が参加できませんので、大きなイベントの開催時はリモートでもご覧いただけるような取り組みができたら良いなあと思っています。個人的な目標として、いつかは管理者として任せてもらえる人間になれるよう日々努力を重ね、ウチヤマグループを一代で築き上げた内山会長とぜひお会いしたいです！それが実現したら、次は全国のさわやか倶楽部を訪問し、沢山の利用者様やスタッフの方々と交流してみたいですね。

前職は他社の有料老人ホームでサービス提供責任者として勤めていましたが、日々ステップUPを考えていました。そんなある日、普段通っている道沿いで工事が始まりました。何が出来るのか時々確認しながら通っていると、大きな横断幕に「さわやか倶楽部スタッフ募集中」の文字が！すぐにネットでブログを見つけ、はつらつとした表情で映っている利用者様やスタッフの方々の笑顔に感銘を受けました。ぜひこの会社で自分の力を試してみたいと思い、面接を経て入社しました。

今年の1月5日より「さわやかふか家の里」の生活相談員として勤務しています。ご家族様から利用者様のお話をたくさん伺い、今までの生き様やプロセスを尊重し共有しながら対応させていただくうち、利用者様より「ありがとうございます」という声を頂けることがあります。その時は「この仕事を、この会社を選んで良かった！」と、やりがいを感じます。利用者様のお一人に、病気の影響で意思疎通が困難な時がある方がいらっしゃいます。ふか家の里全スタッフの優しい対応で、少しずつ少しづつ心を開いてくださっているなあと思っていたある日、その方から微笑みながら「ありがとうございます」というお言葉を頂きました。その

LIFE MAP ライフマップで生きがい発見

変化の
きっかけは

story
23

趣味の発見と「お手伝い」

さわやかレークサイド中の原 [福岡県北九州市]

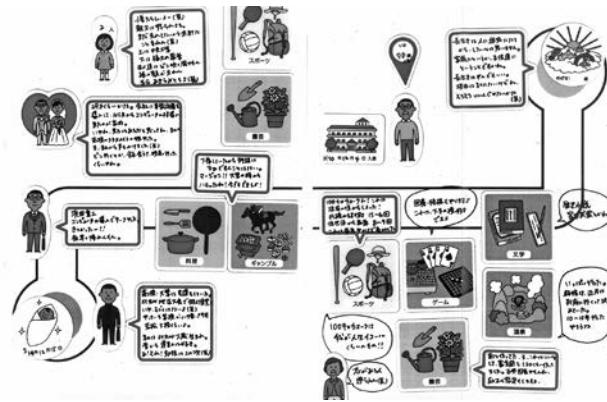
現在81歳のU様は、認知機能の低下から在宅生活が困難になり、3年前に入居されました。入居当初はほぼ一日中帰宅願望を訴え、居室内ではテレビもつけずただ椅子に座って過ごすという一日でした。「今日帰るから」という気持ちがあることで入浴や髭剃り、着替えなどの対応にも苦慮していました。そのような状況が長く続くことはU様にとっても職員にとってもストレスになりますので、日々の生活を変えるためにも早々にライフマップを使ってU様から様々な思いを伺いました。

イラストのカードをお見せすると「あ～これね!」と1枚見せるごとに話が止まらず、奥様から伺っていた以上の趣味が出てきました。「富貴蘭」という珍しい植物を育てていたことを一番熱心に語られましたので、園芸をケアプランに入れてみることになりました。「130個くらい作っていました。古典園芸やもんね」と詳しく語る様子もあり、話しているだけで楽しそうな表情でした。施設で新しく購入した植物ではなく、自分が育ててきた富貴蘭そのものでないと喜びにはならないと感じたので、奥様にお願いして現在も自宅にある富貴蘭を持参していただきました。

持参された当日は「こんなもの持ってきてどうするんだ。明日帰るんだから持つて帰ってくれ」と言われましたが、別フロアに移動させようすると「ちょっと待って。ちょっと眺めよう」とやはり大切な富貴蘭だからこその行動が起こりました。それから徐々に関わりが作れるようになり、植木が好きな入居者様に見てもらいながらU様の周りに人の輪ができるようになりました。奥様が望まれた「植木のことで友人ができるように」という目標達成ができました。



U様にはもう一つ、毎年参加されていた100キロウォークという生きがいがあり、ライフマップの作成時には「我が人生イコールくらいのもの!!」と言われていました。少しでもそれに近



い支援ができるよう、運動として「活動の楽しみ」を目標にしてみました。優しいU様は「手伝ってください」という言葉に弱いんです。行事の際の椅子やテーブル運びのお願いをすると、快くお手伝いしてくださいました。レクのお誘いには応じないU様に動いていただく支援は大変な労力が必要でしたが、お手伝いがあるからという声かけなら気持ちよく動いてください、朝礼にも参加されるようになりました。U様のお手伝いによって朝礼準備の職員1名は別の仕事ができるので、今ではなくてはならない存在になっています。

園芸レクやお手伝いがない時は、相変わらず居室でじっと過ごされており、機能低下が心配されていましたので、デイサービスのレクからヒントを得て、365歩のマーチの音楽をかけながら歩行を促してみたところ、見事に歩き出しました。U様についてられて他の数名も廊下を歩くようになり、今では定着した皆様の自主運動になりました。職員の援助は16時にCDのスタートボタンを押し皆様を促すだけです。U様のお陰で多くの方の歩く楽しみがあるフロアに変わりました。



当初一番の問題であった帰宅願望ですが、今では「私今日泊り?」「そうですよ。お食事も用意しますよ」「あ～良かった」という職員とのやり取りに変わり、心の穏やかさが感じられるようになりました。手伝いの中には転倒や怪我をするリスクもありますが、それを「本人が喜んでるのであれば何でもさせて」と全て許可してくださるご家族様がいらっしゃいます。そのお陰で担当職員は思い切って色々な提案をしています。ゴミ出しまで依頼しているのには驚きましたが、カートを押したり、重いゴミをダストボックスに入れたりすることも、職員とおしゃべりしながら楽しそうにされているのは何より嬉しいことです。

今後もライフマップを使い、お一人おひとりが何を思い、何が生きがいとなるのか、そして自ら動くようになり、なおかつ職員もその援助が楽であることずっと続けていけるサービスを提供させていただきたいと思います。(小林さおり)

※写真・文章は、入居者様ご本人およびご家族様の許可を得て掲載しています。

さくらのもり聖火リレー

世界中に興奮と感動を与えた、TOKYO2020オリンピック・パラリンピック。アスリート達の姿にテレビの前で感動の拍手と喜びの涙を流した方がたくさんいらっしゃると思います。実は、私もその一人です。

なつなんと今回聖火ランナーとして参加した方から聖火トーチをお借りしました。本物を手にした伊藤ケアマネもとっても嬉しそう。



1階のご入居者様へリレーがスタートしました。「立派だねえ～」「もっと重いと思ってた」「本物に触れるなんて感動」「一生に一度だな～こういうのは」皆様、まさかの本物のトーチ登場にびっくりするやら興奮するやらとても喜んでくださいました。(三浦 由美子)

お誕生会

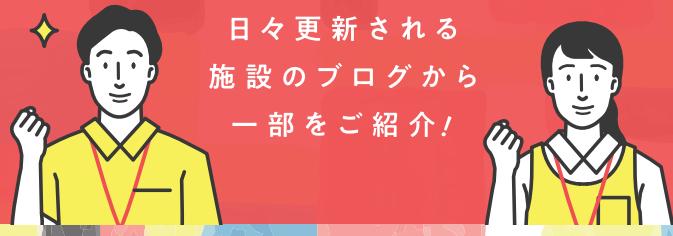
お誕生日おめでとうございます。お誕生日の方にはお祝いのメッセージを書いたラミネートカードをプレゼントしました。裏面には沢山の写真が貼り付けてあります。

お祝いデザートはおやつのスイスロールに生クリームとバナナをトッピングして盛り付けてみました。



お誕生日の方にお祝いに何が食べたいですか?と尋ねたところ「長いもの」と…何でしょう、答えは麺でした。ご希望に応えて焼きそばをお出ししたところとても喜んで下さり、おかわりされました。皆様にも焼きそばは好評で、次回のお誕生会メニューも出来る限りご希望に沿い喜んで頂けたらと思います。(菊川 由美)

さわやかだより



日々更新される
施設のブログから
一部をご紹介!

夏祭り

夏祭りを開催しました。職員さん手作りのゲームやおやつで楽しんで頂きました。



金魚すくいです。金魚も手作りでポイも手作り。もちろんどんぶりには飾りつけを施しています。窓を開け、扇風機をぶんぶん動かして、冷房もかけて対策ばっちり。得点で商品ゲットとなっていますので、白熱した戦いでました。



例年は、bingoゲームで景品を選んでいただいていましたが、運任せとなりますしなかなか全員が終わらないこともあります。今年は趣向を変えて得点制にしました。この方が?こんな動きをしてくださるの??などの発見があり職員も楽しめました。

景品は、職員の家庭にあったバザーに出せるものとして集めましたがとても好評でしたので、次回も計画予定です。(中山 由美)

何味のポップコーン？

手作りのポップコーンを提供させていただきました。ポップコーンマシンを使って作っていきます。できあがったポップコーンはバター・醤油で味付けしました。



ポップコーンの感想を聞いていきましょう。『美味しい』と仰っていただきました。ふわふわのポップコーン大盛況。次のポップコーンにはどんなフレーバーが付くかお楽しみに。(今成 美由紀)



zoomで面会です！

緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が各地で続いているが、さわやか俱楽部の施設ではオンライン面会を行っています。

今回は「さわやかひだか館」にて、zoomを使用した面会の様子をお送りします。最初は半信半疑のようでしたが、慣れてくると笑顔で楽しく会話されました。

新型コロナから生活を守るために面会制限では大変不自由をおかけしますが、ぜひ、オンライン面会をご利用ください。(斎藤 浩人)



リハビリ効果

こちらの入居者様の目標は早く歩けるようになって家に帰る事です。「早く家帰んなくっちゃ、しゃーなかんべな」と、機能訓練士にいつも話しています。そのためにも、リハビリも頑張って継続していて、今では歩行器や手引きで、歩けるようにまでなりました。



身体の原動力は、心。心の原動力になるのは、やはり目標を持つことですね。目標があると、そこに向かって進むためにやるべきことが見えてきます。出来るか出来ないかではなく、やってみるという姿勢。私たち職員も見習っていきたいです。ありがとうございます。(手塚 恵)

お好み焼き

調理レクでお好み焼きを作ったのでその様子をお届けします。

まずはキャベツを細かく切っていきます。包丁の使い方も上手になっています。続いてお好み焼き粉を計りで測ります。お水の分量も量っていきます。メモリをしっかり計り、計量カップも使い方バッチリでした。

後は、たまご・キャベツ・天かすを入れて、混ぜていこう。しっかりと混ぜたらホットプレートで焼いていきます。仕上げにソース・マヨネーズ・鰯節をかけていただきます。おかわりもたくさんして美味しかったね。(池田 梨央奈)



ブログ担当者
必見!!

目指そう毎日更新! ご家族様に喜んでいただける ブログをたくさん書くコツは?



コロナ禍で面会制限が続く中、さわやか倶楽部が発信している各施設のブログは、ご家族様に安心していただるために大切なものです。今回は、ブログを頻繁に更新している施設の担当者の方々に、記事をたくさん書くためのコツを伺いました。

コツ
1

プログラマーと、フロアや職種ごとの担当者を決めましょう。なるべく多くの職員が書けるようにしましょう。

コツ
2

午前の朝礼、午後のレクリエーションには、カメラ持参だ。カメラは出しやすい場所に。活動的な時間はシャッターチャンスです。

コツ
3

写真を撮つたら、すぐブログを書く習慣をつけましょう。後で書こう、は時間がなかなか取れませんよね。

コツ
4

タイトルに施設名を入れましょう。ご家族様が見つけやすくなります。

コツ
5

他施設のブログを見ましょ。投稿のバリエーションが広がります。

コツ
6

笑顔はお一人ずつ、ぐんと大きく撮影しましょう。笑顔に勝る素敵な写真はありません。

さわやか倶楽部では、facebookとInstagramでも施設の情報をお送りしています。ぜひご覧ください。

どちらもアプリ内検索「さわやか倶楽部」でクローバーロゴのものがヒットします。(運営指導部・原田裕子)



さわやか倶楽部
公式フェイスブック

ブログ写真の良い例
=注目度の高いほんの一例です=



笑顔は大きく、一人ずつ!
(パークサイド新川)



躍動感ばっちりの瞬間!
(愛の家もじ館)



施設名に季節感のある
デザイン!
(グループホームはなみづき)



寄り添う職員と一緒に!
(かぬま館)

私は栃木県宇都宮市で産されました。小学生の高学年 때부터,年に1~2回体調を崩すことがありました。両親には心配をかけたと思いますが、そんな時に母は「大丈夫だからゆっくり休みな」と言ってくれました。また、学生生活の中で嫌なことや相談があると話を聞いてくれたり、アドバイスをくれたりしました。私にとって母は自慢のお母さんです。

父は私が小さい時から厳しい時もあれば、優しい時もありました。休みの日はいろいろな所に連れていってくれました。父の仕事が休みで私の学校や仕事がある日は、よく送り迎えをしてくれます。そんな優しい父に心から感謝しています。

母は私が小5の時にヘルパーの資格を取り、それからずっと介護の仕事を続けています。尊敬する母の背中を見て、私

産んでくれて
育ててくれて

ありがとう



さわやかさずめのみや
栃木県宇都宮市

平石 有紀さん



も介護福祉の道に進むことを決めました。5年前に私が上司との関係に悩んで仕事を辞めた後、さわやかさずめのみやを見学し、職員の方々が楽しそうに働いているのを見て、もう一度介護をやってみようと思い入社しました。その後、母も人間関係で退職して新しい仕事を探していましたので「一度さずめのみやに見学に来てみたら?」と私の方から説いて、私が職員の皆さんと笑顔で働いている様子を見て母も入社を決め、親子で一緒に働くようになりました。

今の私があるのは、両親のおかげだと思います。改めて心から「お母さん・お父さん、産んでくれて、育ててくれて、ありがとうございます」と伝えたいです。お母さんとお父さんの娘に産んでくれて私はとても幸せです。



MESSAGE
FROM
CHAIRMAN
ウチヤマグループ会長
内山文治



九月十一日で、ウチヤマホールディングスは東証一部に上場して七周年を迎えました。日本には約四二〇万社の企業があるといわれています。そのうち、東証一部上場企業は二一八八社（二〇二一年九月十五日現在）で、日本全体の企業数の〇・〇5%にあたります。北九州市に本社を置く一部上場企業は当社を含め八社しかありません。

東証一部の上場には厳しい審査基準が設けられており、その厳格な要件を満たした企業のみが上場を果たすことができます。五〇年前に私が内山ビル（株）を設立して創業した時は、日本一の不動産事業者になることを目指していましたが、このような形で成長を続けることができるとは思つてもみませんでした。時代が移り変わる中で、様々な困難や倒産の危機にも遭遇しましたが、夢をあきらめることなく「やればできる」という強い信念を持つて努力を続けば、どんなことでも実現できるという大きな自信をつけることができます。この五〇年間、私の思いに共感してくれた仲間や、苦しい時も変わらずに支えてくださった取引先など、全ての方々に改めて感謝しています。

私たち企業は、社会の中で経済的な価値を生み出していく存在です。その存在価値が社会に認められてはじめて「富」に代わります。

企業の使命は、社会の発展の担い手かつ原動力として人のためにくことがあります。だからこそ売上を上げ、利益を税金等で社会に還元することで貢献することが求められます。昨年から「ロナ禍に入つて今までのやり方が通用しなくなり、カラオケや飲食、ホテルなどの部門においては厳しい状況が続いています。今こそグループ全社員が一丸となって知恵を絞り、状況を好転させるための施策を考え、実践していきましょう。

前回私が内山ビル（株）を設立して創業した時は、日本一の不動産事業者になることを目指していましたが、このように形で成長を続けることができるとは思つてもみませんでした。時代が移り変わる中で、様々な困難や倒産の危機にも遭遇しましたが、夢をあきらめることなく「やればできる」という強い信念を持つて努力を続けば、どんなことでも実現できるという大きな自信をつけることができます。この五〇年間、私の思いに共感してくれた仲間や、苦しい時も変わらずに支えてくださった取引先など、全ての方々に改めて感謝しています。

九月十一日で、ウチヤマホールディングスは東証一部に上場して七周年を迎えました。日本には約四二〇万社の企業があるといわれています。そのうち、東証一部上場企業は二一八八社（二〇二一年九月十五日現在）で、日本全体の企業数の〇・〇5%にあたります。北九州市に本社を置く一部上場企業は当社を含め八社しかありません。

東証一部上場七周年

ギブ・アンド・ギブの神髄とは

先日は嬉しいことがありました。八月の暑い日、本社近くにある北九州メディアドーム周辺を散歩して休憩のために座つていると、通りかかった中年の女性が私の横に座りました。そして、マスク越しでも笑顔とわかる表情で「暑いですね」と言ってうちわを渡してくれました。ちょっとしたことですら、私の「暑い」という気持ちに寄り添つて声を掛けてくれたその気遣いにたいへん感激しました。

本社でもそういう場面がよくあります。特に人事部の下村さんは、私が横を通りかかるいつも優しく声を掛けてくれます。話の内容はその日の天気や服装などありきたりなのですが、やはり声を掛けてくれると嬉しいものです。何かに期待するわけではなく、純粹に私のことを思つて話しかけてくれていると感じられます。

私がかつて船井幸雄先生に教わった「ギブ・アンド・ギブ」とは、まさにこのようなことを言つのだと思います。私が好きなマザー・テレサの言葉に「大切なのは、どれだけたくさんのこととしたかではなく、どれだけ心を込めたかです」という一節があります。相手のことを行なうだけを考え、行動に移せるかというのが大切であり、その無償の思いが強ければ強いほど、相手にも気持ちが伝わるのではないでしょうか。

猛威を振るつて新型コロナウイルスも、いずれ必ず落ち着く日が来ます。今は多くの人も企業も、様々な我慢の中で生活をしていきます。多くの方が経済的な不安を抱える中、日本経済をけん引していく直していくのも上場企業の使命です。私たちは常に社会のお役に立てるのことを考え、実践し、必要とされる存在を目指していく必要があります。ウチヤマグループの理念である「慈愛の心」「尊厳を守る」「お客様第一主義」を胸に、社員一人ひとりが自分の仕事に熱意と誇りを持って、これからも仕事に取り組んでほしいと思います。

読んでみよう！



今月のオススメ図書は…

1 人は成熟するにつれて若くなる
(ヘルマン・ヘッセ)

2 大不平等～エレファントカーブが予測する未来～
(ブランコ・ミラノヴィッチ)

3 赤い日本
(櫻井 よしこ)

4 深夜特急1 香港・マカオ
(沢木 耕太郎)

5 いのちのまつり「ヌチヌグスージ」
(草場 一壽 作／平安座 資尚 絵)



寄付をいただきました!!

愛知県岡崎市の「さわやかおかざき館」に10万円の寄付をいただきました。

2020年の9月からおかざき館のショートステイをご利用いただいていた番匠(ばんしょう)正(ただし)様が、10月に体調を崩して入院となりました。その後、番匠様は残念ながらご逝去となってしまいましたが、おかざき館の利用中に施設の職員がたいへんよくお世話してくれたこと、病院へ緊急搬送される際も職員がとても適切に行ってくれたことに対し、正様の遺書の中におかざき館へ一部寄付をしたいというご意向が書かれていることを、奥様の純子様より知らせいただきました。

2021年8月4日、おかざき館の口座に寄付金の入金がありました。後日、おかざき館の飯尾武志副施設長が番匠様のご自宅を訪問し、お礼の言葉とともに施設からの感謝状を奥様にお渡しさせていただきました。(中部エリア・木下 誠)



三浦施設長よりご挨拶

事例研究内容は「口腔ケア」に関するもので、タイトルは「正しい口腔ケアの実践により健康維持と誤嚥性肺炎をなくす~質の高いサービス提供とQOLの向上」です。日常業務の中での取り組みが評価されたことは、とても嬉しいです。九州歯科大学と北九州産業学術推進機構、そしてさわやか俱楽部の「産・学・官」連携で行ってきた口腔ケアに関する取り組みを実際の支援の中で活用することで、高齢者に多い誤嚥性肺炎の発症を抑える効果と身体機能の回復につながり、食を楽しみ、美味しく食べるという生きがいを取り戻すことができるという素晴らしさと重要性を伝えています。ぜひ動画をご覧ください。皆様の応援よろしくお願いします!(三浦 由美子)

グランプリを狙え!

オンライン投票開催中

一般社団法人全国介護付きホーム協会が主催するイベント「介護付きホーム研究サミットオンライン2021」の優秀賞10組が発表され、その中にさわやか俱楽部が秋田市で運営する介護付有料老人ホーム「さわやかさくらのもり」が選ばれました!このイベントは、介護現場の課題をさまざまな角度から解決する取組事例を共有し、全国の事業所がより質の高い高齢者ケアの実現を目指す目的で2013年にスタートしたもので、コロナ禍の昨年からオンラインにて開催されています。

9月13日からは、優秀賞を受賞した10組の発表演題の動画に対するオンライン投票がスタートしました。さわやかさくらのもりでは、施設で実施している口腔ケアの取り組みについて、動画で解説を行っています。投票の結果は、10月14日に開催される「介護付きホーム研究サミット2021オンライン」というYouTubeのライブ配信にて発表されます。グランプリ受賞を目指して、皆様の応援をよろしくお願いします!



投票期間 2021年9月13日(月)~10月9日(土)

投票方法 動画を視聴された方ならどなたでも、オンラインでの投票が可能です。
動画視聴&投票はこちらから→



結果発表 介護付きホーム研究サミット2021オンライン

2021年10月14日(木) 14:30~16:30

YouTubeライブ配信で発表します。
視聴には、事前申し込みが必要です。

HELLO BABY!!

佐々木 快くん

2021年6月23日生まれ

妊娠中は皆様にお心遣いいただきましてありがとうございました。3080gの元気な男の子を無事出産しました。日々慣れない育児に奮闘しております。今は育児に専念し、1年後に元気に復帰したいと思いますので、これからもよろしくお願いします。



ママ

さわやか立花式番館
リーダー・佐々木 菜美子

緒方 蓮士くん &
颯士くん

2021年8月18日生まれ

双子の男の子が産まれました。私自身、保育士の仕事をしていたことがあり、育児には苦労することなく毎日が楽しいです。これからは夫婦で力を合わせて幸せな家庭を築いていきたいと思います。



パパ

さわやか立花式番館
リーダー・緒方 騎士

姉の藍音(らんと)ちゃんと
一緒に



井上 詩衣ちゃん

2021年8月22日生まれ

第二子となる次女が誕生しました。コロナ禍の出産で不安もありましたが、周りの人達に支えられて無事に産むことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも家族仲良く、笑顔あふれる家庭を築いていきます。

ママ さわやか愛の家さいだいじ式番館
児童指導員・井上 彩音

あなたのお悩み話してみませんか?

ひとりで
悩まないで!

さわやか相談室



お気軽にどんなことでもご相談ください。
お電話、メールお待ちしております!

電話番号

090-9497-5764

メール sawayakasoudan@docomo.ne.jp